

## 教員ポータルサーバ「デジタル職員室」のご紹介

— 教員が利用する PC 環境を統一し校務の情報化を促進 —

所属 (株)内田洋行 教育システム事業部 サービス&サポート企画部 商品企画担当課長 島田 誠  
shimada@uchida.co.jp

http://school.uchida.co.jp/index.cfm/7,757,26,142.html

キーワード：教員の ICT 利活用促進、校務の情報化、ポータル、統合環境

### 1. 概要

政府の I T 戦略本部が策定した「I T 新改革戦略」により、教育現場において校務用コンピュータの整備率、平成 20 年 3 月現在 58% から平成 22 年までに教員一人一台 PC 100% への整備が進められています。また、教育現場では学力低下、校務の多角化による教員への負荷など多くの課題を抱えています。そうしたことから、I C T を活用することによって、教員の多様な校務を効率化し、教育内容の検討や児童生徒と関わる時間の確保など、教員の業務改善を進めることが期待されています。

そのような背景のもと、60年にわたり教育現場をサポートしてきた内田洋行では、職員室で行う校務がすべて P C 上で行え、初心者にもわかりやすい環境整備のため「総合窓口」となる教員ポータルサーバ「デジタル職員室」を製品化いたしました。「デジタル職員室」は、教員の方々が一目でわかりやすく運用できるように個人予定、職員予定、行事予定、掲示板など教員の方々が日々、職員室で行っている情報共有グループウェアをデジタル化したもので、Microsoft 社の Office SharePoint Server を採用し、各学校間や教育委員会のサイトなどデジタル職員室に存在する様々な教材ファイルやプリント教材、校務分掌を検索することができます。また、教育委員会に存在する様々な Web サイトの接続は S S O (シングルサインオン) 技術を用い教員の方々が簡単にアクセスすることを標準装備しており、今後の校内 LAN 整備の拡大にも対応しています。

### 2. 「デジタル職員室」の特長



写真 1: 「デジタル職員室」初期画面

#### (1) 「使いやすい」「わかりやすい」画面構成

教員の方々が日常的に利用する Web アプリケーションや便利なツールを揃えたポータル環境(総合的な窓口)を用意。例えば、一目で一日の予定を確認できるトップメニューや、ワンクリックで Web アプリケーションに接続できる教材研究メニュー・校務メニューなど「使いやすい」「わかりやすい」操作環境を提供いたします。

#### (2) 日常的に利用する便利ツールを用意

日常的な連絡事項としてグループウェア機能(掲示板・お知らせ・行事予定・職員予定・時間割の表示)のほか、時計、付箋、インターネット上の記事の確認など、便利なツールが揃っています。また、教材研究等に利用できる 2,700 種類にも及ぶ小中学校向けの教科別テンプレートを装備し、先生方がプリント教材として、児童・生徒に配ったり、黒板に映したりするなど様々な用途として活用できます。

#### (3) いろいろな Web アプリケーションとの連携が可能

システムのエンジンとして Microsoft Office SharePoint Server を採用し、ポータル・グループウェア・S S O などの優れた機能を提供します。またユーザー認証に Active Directory を採用し、教育現場の認証の統一、ならびに各種資源の有効活用を推進。

S S O (シングルサインオン) 技術を使って一つの ID・パスワードを使って各学校や教育委員会のサーバなど他のアプリケーションに簡単にアクセスできます。



写真 2: 「デジタル職員室」の Web アプリ連携